

## 「環境技術」執筆要領（全論文共通）

(2024年5月改定)

「環境技術」への掲載記事は、査読付論文と一般論文の2種類あります。これは、すべての原稿に共通の説明です。査読付論文の詳細については、「査読付論文投稿規定」を参照ください。

### 1. 投稿資格

査読付論文である[研究論文][技術論文][研究ノート][報告]は、責任著者が本学会会員(名誉会員を除く)であることとする。その他の論文については、執筆者の中に本会会員を含むこととする。但しいずれの原稿も採否は、編集委員会がこれを決定する。

### 2. 記事の種類（投稿・依頼原稿のすべてについて）

No.	種類	内容	査読	ページ (本誌面)	掲載料
1	研究論文	独創的で完成度が高い研究内容を含む論文	2名	7	必須
2	技術論文	開発技術や実験手法、調査手法、分析手法等において、技術面での新規性ないしは完成度が高い内容を含む論文	2名	7	必須
3	研究ノート	断片的であるが論文に近い新規性がある内容を含む短報・速報	2名	5	必須
4	報告	実際的な実験や開発技術、調査、分析等の成果報告(有用なデータや情報を含む)	1名	6	必須
5	総説	研究、技術を総合的にまとめ、識見に富んだ著作物	無	5	
6	論説	提案・意見	無	5	
7	解説	個別の分野についての情報のまとめ	無	5	
8	海外情報	海外の環境技術関連情報	無	5	
9	講座	数回にわたるシリーズ	無	5	

論文(原稿)の種類は、上表の他に、[行事(会議)報告][書評][ずいいろん]等、各種コラムがあるが、いずれも誌面1,2ページとする。また、広告記事に準ずる[技術資料][商品ニュース]等がある。

### 3. 「環境技術」誌原稿の書き方・体裁など（但し、(3)以下は、全論文共通）

- (1)原稿の提出について：ウェブサイトより書式をダウンロードして利用できます。
- (2)上記「論文種類」のNo.5～7については、「タイトル」の他に「キーワード」が必要。  
　　タイトル(和文・英文)は30字以内。キーワード(和文)は5個以内。
- (3)文 章：簡潔平明で、他分野の読者にも理解しやすい文体を心がける。  
　　項目の分類は、次の例による。  

(例) 項1. …… 目1.1…… 細目1.1.1…… (1)……
- (4)文 字（原則として、明朝体）
  - a. 原則として当用漢字、平仮名(現代かなづかい)、アラビア数字(数量を表す)を用いる。
  - b. ローマ字、ギリシャ文字は誤植のないよう正しく書く。大文字、小文字の区別がわかりにくいものは、その別を明らかにローマ字とギリシャ文字の別を明らかにする。単位は、SI単位を原則とする。
- (5)数 式：数式は、式(1)、式(2)……とし、重要なものだけを数学の約束に従い、簡単な形で、正確な表現で書く。
- (6)図・表：図表や写真の点数は必要最小限とする。減らすようにお願いする場合もある。
  - a. 図表のキャプション・文字は日本語、明朝体とする。査読論文は、和英どちらも可。
  - b. キャプションを付す。説明(最大100字)など図表中の文字は明朝体とする。
  - c. 同一内容の図と表がある場合は、どちらか一方で表示する。
  - d. 図表はモノクロで判別できること、背景色を無色とする。

- e. 図の目盛線の間隔は、できるだけ簡潔にする。
- f. 写真はモノクロとし、解像度が高く鮮明であること。
- g. 図・表・写真の説明は、次のようにする。  
(例) 図1…… 表1…… 写真1……

※書体はゴシック体。

(7)参考文献は下記の書式に従う。

- a. 論文の場合……  
著者名；論文名、掲載誌名、巻数、(号数), p. 初めのページ-終わりのページ、発行年。  
(例) 藤川陽子；大阪-京都の地下水の水質問題と処理方策-色度、アンモニア等、環境技術,  
46, (5), p.26-33, 2017.  
※巻(Vol.)数はゴシック体。号(No.)数は( )で囲む。
- b. 図書の場合……  
著者名；図書名、出版社名、総ページ数 p.、発行年。  
(例) 金子光美；水道の来し方行く末、環境技術学会、160p., 2009.  
※総ページは、ページ数の後に「p.」を入れる。
- c. ウェブサイトの場合……  
著者名；“ウェブページの題名”，ウェブサイトの名称、入手先、(参照日付)。  
※入手先は、該当ページのURLを記入する。  
(例) 大塚泰介；“Rによる珪藻群集の分析”，環境技術学会, <http://www.jriet.net/magazine/2017/diatomanalysis.html>, (参照 2017-11-01).

#### 4. カラー印刷

カラー印刷費用を自己負担して、カラー印刷にすることができる。

#### 5. 著作権

著作権は本学会に帰属し、著作者が利用する場合、第一著者から事前に本会へ許可申請を行う。第三者からの複製、転載許諾申請に対し、公益的利用については、学会が許諾することがある。

また、本会は、複製権(PDF)と公衆送信権(ウェブ公開)の使用についても許諾権を有するものとする。

#### 6. 別刷り料金(査読付論文以外。消費税は外税)

本文ページ数	25部	50部	100部
6ページまで	16,500円	22,000円	26,400円

(注意)

- ・7ページ以上の場合は、編集室に問い合わせてください。
- ・査読付論文の掲載料については、「査読付論文投稿規定」を参照。
- ・特集部分をまとめる、連載をまとめるなどのスタイルで別刷り作成もできます。